

住友商事など農業用ドローン新興に出資

住友商事とダイハツ工業、三井住友ファイナンス&リースは農業用ドローンの開発・販売を手掛けるナイルワークス（東京・渋谷）に出資したと発表した。自動飛行するドローンを使った農薬散布や生育診断など、農業のデジタル化を支援する。住友商事は3回目の出資で、本格的な量産段階に向けて販路を拡大する。

住友商事など3社がナイルワークスの第三者割当増資を引き受けた。出資額は非公表。住友商事は追加出資で同社を持ち分法適用会社とする。創業者の柳下洋氏は最高技術顧問に就き、住友商事出身の永田幸生氏が社長に就任した。住友商事は2017年の資本提携から農薬の販売網などを通じてドローンの販売を支援しているほか、複数の農家で利用するシェアリング事業で共同実験を行っている。